



令和6年度 石岡市立府中中学校 グランドデザイン

校訓：自律 誠実 素直

本県教育の目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

めざす生徒像

- 日常生活を大事にできる生徒
- 仲間とともに感動できる生徒
- 自ら学習できる生徒

学校の教育目標

心を磨き、共に考え、自ら実践する生徒の育成

学校経営の理念

夢に向かって 仲間ときらめき ふるさとの誉れとなる学校

- 子どもが主役の学校づくり
「一人一人を認め・生かし・仲間と共に伸びる」
- 教職員と組織が伸長する学校づくり
「一人一人がよさや能力を発揮し、組織として前進」
- 保護者・地域と共に歩む学校づくり
「地域のよさを十分に生かし、学校を誇る」

石岡市教育大綱

基本目標

- 「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」
- 協働・自律・自他の尊重

めざす教師像

- 生徒、保護者、地域住民から信頼される教師
- 生徒の心に寄り添い、共に語り合える教師
- 授業を大切にできる教師

組織目標

- ・自己肯定感や自己有用感を実感し共に伸びようとする豊かな人間関係の醸成
- ・基礎的な学力をベースにして探究的な学びにつなげる授業改善

府中! 夢中! 熱中!

研究テーマ 自ら学びに向かい 共に学びを深め 学力を高める授業づくり ~課題の発見と解決に向けて見通しをもち学習意欲が継続する指導の工夫~

【学力向上】プロジェクト

◎校内研究・国際教育・社会、情報教育・教務主任・3学年主任・自情、福祉教育、司書、HP

★ミッション：生徒のニーズに応える指導力を高め、授業で身に付く確かな学力

- ◎振り返り活動を通じた学習意欲の向上（エビングタイムの確実な実践）
- 主体的な課題の「発見」と「解決」に導く授業改善

☆評価

- エビングタイムを確実に実践できた（職員 90%）
- 授業が「わかった」「楽しい」と感じた（生徒 80%）

【キャリア】プロジェクト

◎進路指導主事、総合・ふるさと学習、家庭・給食・理科、科学・原子力・2年主任、体育・美術、HP・知的

★ミッション：古に学び、今を考え、未来の幸せを創造する実践力の育成

- ◎3年間を見通したふるさと学習の充実
- 職場体験活動等を生かしたキャリア教育の充実

☆評価

- ◎ふるさと学習により地域連携意識が高まった（職員 90%）
- 体験的な活動を通して、未来の姿に見通しが持てた（生徒 80%）

【特活・道徳】プロジェクト

◎道徳推進教師、学校図書館・英語、道徳・学校保健・特活、生徒会、豊かな心 CN・言語、体育・自情、統計教育

★ミッション：個と集団の往還による体験活動を通し、心理的安全性を実感する豊かな心

- ◎話し合い活動を生かした共感的な人間関係を築く学級集団づくり
- 話し合いを通じた道徳的価値観の育成と道徳の実践力の向上

☆評価

- ◎話し合い活動で集団意識を高めることができた（職員 90%）
- 他人の意見を聴き道徳的な自己決定ができた（生徒 85%）

【保健・安全】プロジェクト

◎保健主事・1年主任、技術・部活動・国語・学校保健・自情、人権教育、HP

★ミッション：潤いのある生活環境と安心・安全な教育環境で育む健やかな体

- ◎環境整備に努め、安心・安全な学校及び健康的な生活習慣の育成
- 危機管理意識をもち自己指導能力の育成を図る特別活動の充実

☆評価

- ◎日常の安全管理を基に生活環境を整えることができた（職員 90%）
- 友達との人間関係が円滑で学校が楽しい（生徒 85%）

【生徒指導】プロジェクト

◎生徒指導主事・数学・環境教育・交通安全・音楽、教育相談・通級、特支 CN

★ミッション：多様性を認め、自律と共生を目指した自己指導能力の育成

- ◎多様な生徒の実態を把握し、主体性を生かす「しかけ」の工夫
- QUテスト及びSGE等を生かした豊かな人間関係づくりの実践

☆評価

- ◎一人一人の夢の実現に向けて良さを引き出す場を設定した（職員 90%）
- QUテスト、学級生活満足群（6月→12月：+5%）

「行事」プロジェクト

★ミッション：生徒の成長を語り合い、教師集団の強い協働体制による信頼される学校

- ◎感動体験ができる計画と生徒支援の充実
- 地域人材・各種団体等との情報・行動連携による「学校運営機構」の実践

☆評価

- ◎行事満足度（生徒・職員 80%）
- 組織結成・活動計画の達成（学校関係者評価A）

「コミュニティースクール」

★ミッション：学校支援応援団と共に歩む、地域から愛される学校

保護者・地域

- ◎地域人材・各種団体等との情報・行動連携による「学校運営協議会」の確立
- 学校支援応援団の活動の活性化

☆評価

- ◎組織結成・活動計画の達成（学校関係者評価A）
- 学校支援応援団登録者（20名以上）

教職員

- ◎プロジェクトチームによる校内業務の工夫（PDCAサイクルを機能させたプロジェクト会議の充実）
- 3ない運動+2（飲酒運転・体罰・ハラスメント・個人情報・金銭）の徹底

☆評価

- ◎プロジェクト会議による業務査定と業務改善の補填（年3回・時間外勤務月80時間0%・各種通信等時間 50%以下）
- 学校事故「ゼロ」